

## 炭素硫黄分析装置

ワイドレンジタイプの炭素・硫黄分析装置。金属、鉱石、セラミックス等、無機物全般の炭素及び硫黄を燃焼法によって測定する。本装置では、JIS G 1211-3(2011)「鉄及び鋼-炭素定量方法-第3部:燃焼-赤外線吸収法」に規定された炭素定量方法、JIS G 1215-4(2010)「鉄及び鋼-硫黄定量方法-第4部:高周波誘導加熱燃焼-赤外線吸収法」に規定された硫黄定量方法が実施できる。

装置のコントロール・分析条件の設定・診断など全ての操作は、フレキシブルアームに搭載された、Windows ベースのタッチスクリーン式インターフェイスを介して行う。

### [型式]

LECO ジャパン合同会社 CS844

### [仕様]

分析範囲 炭素 : 0.0006 ~ 60 mg (1g サンプルでは 0.6ppm ~ 6.0%)

硫黄 : 0.0006 ~ 60 mg (1g サンプルでは 0.6ppm ~ 6.0%)

分析精度 炭素 : 標準偏差 1s 0.0003mg (0.3ppm) または 0.5%RSD いずれか大きい方

硫黄 : 標準偏差 1s 0.0003mg (0.3ppm) または 0.5%RSD いずれか大きい方

キャリブレーション : 標準試料(1点または多点), 手動

分析時間 : 40 秒 (通常)

サイクルタイム : 130 秒 (通常)

処理能力 : 27 サンプル/時間 (通常)

試料重量 : 1g (通常)

検出方法 : 非拡散赤外吸収法

### [設置年度]

2013 年度 (平成 25 年度)



※ 平成 25 年度 (公財) JKA 補助金対象機器

○ 設備・機器に関してのご質問、設備利用の手続き等は、[センター](#)の電話番号にお問い合わせください。設備利用の利用手続き等は[設備利用のページ](#)でご確認ください。

令和 4 年 7 月 12 日